

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary
第2580地区



ロータリーの
マジック

東京秋川ロータリークラブ
2024-25年度 14号

2024年10月24日
第2392回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	43	23	18	2	56.10%

本日のテーマ

イニシエーションスピーチ
立花 晋也 君

次回以降のプログラム

10月31日(木) 夜間例会・卓話
11月 6日(水)7日(木) 親睦旅行
11月14日(木) ガバナー公式訪問・卓話

第2391回の出席率訂正 会員43名 出席25名 メークアップ8名 欠席8名 免除2名 訂正出席率 80.49%

会長方針

絆と喜び；仲間と笑顔で奉仕を

会長報告 平宮 力夫 会長

- ・2024年秋川流域ふれあいクリスマスの第一回実行委員会が10月16日に開催された。
 - 実施日：令和6年12月7日(土曜日)、13時30分～16時
 - 開催場所：秋川ふれあいセンター 1階フロア
 - 実行委員：会長、幹事、社会奉仕委員長
 - 第2回実行委員会は11月26日(火) 19時からふれあいセンターで開催予定。
- ・事務所移転完了：10月17日(木)に新事務所への引っ越しが完了。
- ・秋川流域少年野球大会の決勝戦と閉会式が10月20日(日)に開催され、無事終了。
 - 優勝チーム：一部：多西ヤングライオンズ、二部：五日市少年野球クラブ
 - 12月1日(日)に親睦試合(終了後リバーティオでバーベキューを開催予定)
- ・多摩分区親睦ゴルフ大会と兼地区大会予選会が東京バークラブ10月25日(金)に開催されます。



幹事報告 佐藤 慶 幹事

- ・2580地区大会のお知らせ
 - 4月23日(水)と24日(木)に、ホテルエミシア東京立川で開催予定。
 - 詳細については資料を確認するように依頼されています。
- ・新事務所への引っ越し
 - 10月17日(木)に新しい事務所に移転。
 - 参加者への感謝の意が述べられ、事務所の見学も歓迎されています。
- ・ガバナー公式訪問
 - 11月14日(木)開催、クラブの活動計画や奉仕活動、会員増強などについて発表が予定されています。
- ・親睦旅行とクリスマス活動
 - 11月6日(水)と7日(木)に熱海方面への親睦旅行が計画されています。
 - 12月7日(土)には、ふれあいクリスマス会の活動が予定されており、午前から参加者に協力をお願いしています。
- ・寄付金のお願い
 - 米山記念奨学会基金への寄付が募られており、寄付金は税控除の対象になるとの説明があります。



委員会報告

国際奉仕委員会

国際大会(カルガリー)について

2024年6月21日(土)～25日(水)にカナダ・カルガリーで開催される国際大会に参加する案内。ガバナーナイトを22日(日)夕食の時間に開催、音楽を楽しむイベントが予定されており、参加費は2万5千円。事務局よりおっでご連絡がございますのでご確認ください。



— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **43,100円**

- ・役員選考委員会 役員選考委員会残金
- ・秦 英準 君 結婚祝いをいただいて。
- ・進 藤晃 君 早退致します。

イニシエーションスピーチ 立花 晋也 君

私は静岡県浜松市の出身で、鰻と餃子が名物の町で育ちました。浜松市は餃子の消費量が宇都宮と並んで毎年一位を争う地域として知られています。このような地元で育ち、私は高校時代に静岡県立浜松工業高校へ入学しました。その後、高校生活を送る中で、すぐにアルバイトを始めることになりました。

私が最初に始めた仕事はスーパーのバックヤードでの業務で、車から荷物を降ろしてそれを集約したり、整理する仕事でした。当時の時給は650円で、学校が終わる午後4時頃から4時間程度働いていました。そのような日々を重ねる中で、休日も含めてアルバイトを増やし、収入を少しずつ増やしてきました。最初の月の手取りは4万円から5万円程度でしたが、やがて10万円から15万円にまで伸び、学校の勉強よりもアルバイトで稼ぐことに魅力を感じるようになりました。そして、最終的には学校を中退してアルバイトに専念する決断をしました。

中退後は、父親から「学歴がないなら手に職をつけるべきだ」と助言を受けました。この言葉をきっかけに職人を志し、最初はガソリンスタンドで働き始めましたが、年末の多忙な環境に耐えられず、その仕事を辞めました。その後、17歳でとび職の世界に入りました。最初は親会社の下請け会社に雇われながら厳しい環境で働き、多くの技術と経験を身につけました。



20歳の時には八王子営業所の立ち上げメンバーに選ばれ、関東地方に拠点を移しました。このタイミングで家族を持つことになり、18歳で結婚し、2人の子供を授かりました。現在、子供たちはそれぞれ成人し、22歳と20歳になっています。その後、個人事業主として独立し、2007年に株式会社立花工業を設立しました。設立以降、事業は順調に拡大し、2013年には建設業の許可を取得、2020年には不動産事業を開始しました。現在では、保有在庫が20万平米を超え、専属外注15班約60名という規模に成長しています。当社の主力事業は、戸建てからビル・マンションまで幅広く対応する足場工事で、特に大規模修繕工事で強みを発揮しています。

会社のコンセプトは「安全と信頼の架け橋」であり、技術革新や安全対策を徹底して行うことでお客様の信頼を得ることを目指しています。また、環境に配慮した製品の開発やCSR活動にも積極的に取り組み、地域社会への貢献を重要な使命と考えています。

日本ではまだ十分に根付いていない部分もありますが、アメリカでは非常に進んでいる分野です。私たちの会社では、高校生の新卒採用を全国で募集しており、応募者がホームページをよく確認します。その際、CSRに関する取り組みは特に注目される部分であると感じています。そのため、企業が社会的責任をどのように果たしているかをしっかりと発信することが重要だと考えています。

現在、当社では地域社会への貢献活動として、花火大会や「わんぱく相撲」の運営支援を行っていますが、それ以外にもできることがあると感じています。具体的には、2019年に私がJC（青年会議所）の理事長を務めた際、フィリピンのサンファンJCと姉妹締結を行い、障害者施設を支援するジョイント事業を始めました。最近では、チャリティーで集めた物資を現地に届ける活動も行っています。

また、11月16日（土）には花火大会が開催されます。この大会は2019年に私がJC理事長時代に立ち上げた事業で、今年で6年目を迎えます。5,000発の打ち上げ花火に加え、25店舗のキッチンカーが出店する飲食フェスも開催予定です。今年からNPO法人「まちづくりコンソーシアム」が主催を務めており、地域の複数の団体が連携して運営しています。このような取り組みは、地域全体が一体となり、お祭りを盛り上げる良い例であり、将来的には観光産業としても成長する可能性を秘めています。

例えば、日本三大花火大会の一つである長岡の花火大会では、昨年の総予算が12億8000万円、経済効果が332億円にも上りました。規模は異なりますが、10年、20年と継続することで、私たちの花火大会も地域の観光産業として大きく貢献できると信じています。この取り組みは、ロータリーやライオンズクラブといった奉仕精神を基にした活動とも一致しており、地域に良い影響を与えるものと考えています。

花火大会は、五感を刺激することで人々の記憶に深く刻まれるイベントです。音や光、煙の香りなどが共鳴し、さらには音楽とのコラボレーションによって、参加者に感動を与えることができます。今年の大会にご参加いただける方がいれば、ぜひご協力をお願いしたいと思います。

また、協賛のメリットとしては、会社の福利厚生の一環として従業員やその家族に参加してもらう機会を提供できるほか、企業のPR活動にも活用できます。例えば、ブース出展やチラシの配布などが可能です。詳細についてご興味がある方は、ぜひ私までお問い合わせください。

◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央